



海南東ロータリークラブ

ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

RI District 2640 Japan

第 1737 回例会

平成 25 年 3 月 4 日(月)

海南商工会議所 4F 18:30~

1. 開会点鐘

2. 国歌斉唱

3. ロータリーソング

4. ゲスト紹介

米山奨学生

「君が代」

「奉仕の理想」

代 向斐 様

5. 出席報告

会員総数 53 名 出席者数 34 名

出席率 64.15% 前回修正出席率 71.70%

6. 会長スピーチ

会長 花田 宗弘 君



昨日、海南西 RC の 20 周年祝賀会がマリーナのロイヤルパインズホテルでありました。海南市長、紀美野町長をはじめとして、他約 50 名の出席があり、当クラブからは当時の設立準備委員の楠部さん、林さんを含め 6 名出席致しました。海南西クラブは当クラブと海南クラブが親クラブとなり 20 年前に 35 人で発足しましたが、その後もあまり会員が増えず現在は 19 名で運営しています。会員数は少ないですがその分まとまりが良く、なごやかなクラブとなっている様に見受けられました。

ちなみに我がクラブは 38 年前に海南クラブが親クラブとなり 25 名で発足、一時は 70 名までなりましたが、現在は 53 名の在籍です。この間 102 名の退会者がありました。この 10 年間では、43 名の退会者があり、このうち 8 名が亡くなられています。我がクラブの 40 周年記念祝賀会は 2 年後の平成 27 年に行われる予定です

今日は米山奨学生の代さんによる、1 年間お世話になった御礼のスピーチがあります。後ほどよろしくお願い致します。

次回は献血例会となっていますが、献血出来る会員が年々少なくなってきた、時間に余裕が出来ましたので、先日雑誌委員会から要請がありましたロータリー雑誌「友」の感想文の発表をして頂くこととなりますので、そのつもりで出席方よろしくお願い致します。

次回は献血例会となっていますが、献血出来る会員が年々少なくなってきた、時間に余裕が出来ましたので、先日雑誌委員会から要請がありましたロータリー雑誌「友」の感想文の発表をして頂くこととなりますので、そのつもりで出席方よろしくお願い致します。

7. 幹事報告

幹事 中西 秀文 君

○例会臨時変更のお知らせ

粉河 RC

3 月 27 日(水)→3 月 27 日(水)

韓国 済州島

西帰浦 RC 創立 35 周年記念式典

和歌山南 RC

3 月 29 日(金)→3 月 26 日(火)

19:00~ スターゲイトH関西エアポート

台湾:岡山 RC 歓迎夜間例会

和歌山中 RC

3 月 29 日(金)→3 月 29 日(金)

19:00~ ルミエール華月殿

RI 研究(5):ロータリー研究会

○休会のお知らせ

和歌山北 RC

3 月 18 日(月)

粉河 RC

3 月 20 日(祝・水)

8. ゲスト卓話

米山奨学生

代 向斐 様

皆さん、こんばんは。いつもお世話になり、有難うございます。

友達から卒業感想書いてもらえませんかと言われた時、軽い気持ちでした。日本での生活を振り返って見るといろいろあったので、すぐに書けると思いましたが、書こうとすると、一文字も出て来ません。なぜかといえば、「卒業」という言葉にこだわり自分の気持ちがだんだん複雑になってきたからです。

今年の卒業は以前の卒業と違い、卒業したら、社会人になり、好きなキャンパスと離れることになるでしょう。今までずっと普通にできたことはもう普通にできないでしょう。静かな図書館で好きな本を読むこと、何も考えずに勉強に専念することも、綺麗なキャンパスでうろうろすることも。これらはこれからそんなに簡単にできなくなるでしょう。そう考えると、ちょっと悲しくなってきました。

社会人になり、今まで学んだ知識が役に立つかわかりません。未来に対していろいろな不安で、不安でたまらないです。しかし、少しわくわくして期待しています。自分の中に原石を見つけ、時間をかけて磨くときと宝石になるでしょう。昨年、米山の奨学生になりました。和歌山県海南市東ロータリークラブ



四つのテスト 言行はこれにてらしてから

- ①真実かどうか ③好意と友情を深められるか
②みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002 海南市日方 1294(海南商工会議所内)

電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長: 花田 宗弘

幹事: 中西 秀文

SAA: 那須 正志

<http://www.kainaneast-rc.jp>E-mail: info@kainaneast-rc.jp

から大変お世話になっており、本当に感謝しております。更に、ロータリーの「奉仕」精神が自分の人生に影響を与えました。人生というのはただ自分のためではなく、人々の幸せのため、できるだけ自分の力を出すことを心に深く感じました。これからロータリーの「奉仕」の理念に基づいて、日本と中国の友好のために架け橋となるように自分の力を尽くしたいと思えます。



9. 閉会点鐘

次回例会

第 1738 回例会 25 年 3 月 11 日(月)

海南商工会議所 4F 12:30~

献血例会



ニコニコ・BOX



Happy Birthday 3月お祝い



○会員誕生日

2 日 山畑 弥生君	1 6 日 小椋 孝一君
3 日 倉橋 利幸君	2 7 日 朝井 修君
1 3 日 那須 正志君	3 1 日 山東 剛一君

○奥様・ご主人誕生日

3 日 楠部 悦子様	1 6 日 田岡 美香様
1 0 日 山田 由紀様	2 1 日 花田 恵子様
1 2 日 平尾 美代子様	2 3 日 荻野 真由美様
1 3 日 横出 美保様	

○結婚記念日

1 3 日 重光 孝義君	2 6 日 岸 友子君
1 5 日 小椋 孝一君	2 9 日 土井 元司君
2 6 日 深谷 政男君	



国際ロータリー ニュース

平和への思い

田中作次 RI 会長とロン・バートン RI 会長エレクトは先日、オクラホマシティ（米国オクラホマ州）にある連邦政府ビル爆破事件跡を訪れました。「奉仕を通じて平和を」というテーマを掲げている田中会長はこの場を訪れた感想を次のように述べました。「暴力の結果としてどのようなことが起こるのかを改めて思い知り、私たちが一丸となって平和の実現に向けて努

力することの重要性を認識しました」オクラホマ連邦政府ビル爆破事件跡の記念公園への訪問は、大変印象深いものでした。168 名の犠牲者一人ひとりを象徴する椅子が並べられた小道を歩きながら、愛する人を亡くされたご遺族やご友人の方々を思いました。20 年近く前に起きたこの悲しい事件を忘れないために、この記念公園が建てられたそうです。最愛の人を亡くした悲しさは一生埋めることができないでしょう。今回の訪問は、暴力がもたらす悲劇、そして、平和への尽力の重要性を改めて認識させるものでした。



ロータリー平和フェローシップの推進を

エチオピア外務省に勤務していた外交官、ジョデヌ・ハイレさんは、オスロの平和研究所でロータリーの平和センタープログラムについて知り、2002 年にロータリー平和フェローシップに応募しました。ハイレさんはその後、同プログラムの第一期生としてプログラムを修了した元フェローです。「実践的な方法で紛争解決に取り組むには、十分な訓練を受けた専門家が必要、入念に組み立てられたカリキュラムを通じて、紛争解決と国際平和の分野で専門教育を受けた人材が求められています」



1 月にサンディエゴで開催された国際協議会にて、次期ガバナーを前に講演したハイレさんは、ロータリー平和フェローシップの利点を強調し、また各地のクラブがプログラムを推進して、有望な候補者を推薦することが重要だと訴えました。国が発展するには、まず平和が必要です。そのためには、紛争や対立をうまく解決するための専門的な知識や技能を備えた人材が必要です。ハイレさんは現在、外交分野の研究者、研修者、調停役として活躍しています。アフリカに拠点を置く、経営コンサルティング会社「Emahizee Global Consulting PLC」の創設者兼管理責任者、またアフリカ地域の紛争調停に関わる団体の会長も務めています。ロータリー平和フェローとしてカリフォルニア大学バークレー校で学んだ経験は、自身のキャリアに大きな影響を与えています。「経験や知識の豊富なフェローが集まっているので、互いに刺激し合い、良い勉強になりました。またプログラムを通じて大学のコミュニティに参加し、豊富なリソースを利用して平和構築への理解を一層深めることができました」

1 月にサンディエゴで開催された国際協議会にて、次期ガバナーを前に講演したハイレさんは、ロータリー平和フェローシップの利点を強調し、また各地のクラブがプログラムを推進して、有望な候補者を推薦することが重要だと訴えました。国が発展するには、まず平和が必要です。そのためには、紛争や対立をうまく解決するための専門的な知識や技能を備えた人材が必要です。ハイレさんは現在、外交分野の研究者、研修者、調停役として活躍しています。アフリカに拠点を置く、経営コンサルティング会社「Emahizee Global Consulting PLC」の創設者兼管理責任者、またアフリカ地域の紛争調停に関わる団体の会長も務めています。ロータリー平和フェローとしてカリフォルニア大学バークレー校で学んだ経験は、自身のキャリアに大きな影響を与えています。「経験や知識の豊富なフェローが集まっているので、互いに刺激し合い、良い勉強になりました。またプログラムを通じて大学のコミュニティに参加し、豊富なリソースを利用して平和構築への理解を一層深めることができました」

3月は識字率向上月間です